

1万4095人駆け抜けた

実業団サンベルクス所属の26歳 貫禄の独走!!早くもV3宣言

三浦の神

沖守 連覇



ハーフ男子

第37回2019三浦国際市民マラソン

(3日 三浦 雨天) 気温14.3度 湿度88% 北風



国内唯一のホノルルマラソン姉妹レース「第37回2019三浦国際市民マラソン」は3日、1万4095人(55137人)ハーフマラソン1万47人、キッズマラソン1277人が参加して行われた。ハーフマラソン男子は序盤からのリードを飛ばした沖守怜(26)がサンベルクスが1時間6分52秒で2連覇を達成した。同女子は前回の55分15秒の吉村玲美(18)が白鷗高3年がハーフ初挑戦ながら1時間17分18秒のタイムで制した。大会後の抽選でハーフマラソン完走者から3人が「第37回JALホノルルマラソン」に招待された。

同日引退の友の分まで
降りしきる雨の中、沖守が賞状を手にし、友人らと喜びを分かち合った。引退を告げられた沖守は、友人らと共に涙を流しながら喜びを分かち合った。引退を告げられた沖守は、友人らと共に涙を流しながら喜びを分かち合った。

果たした。スタート時の気温は4.1度。「寒いのは苦手」と不安もあったが、2位を1分以内でも引き離す快走。「単独走になるのは分かっていて、後半のアップダウンを我慢すれば勝てる」と思ってスタートし、そのプランを完遂できた」と顔をほころばせた。

沖守 怜(おきもり・さとし) 1992年(平4)5月24日生まれ、大阪市出身の26歳。大塚高一国学院大。卒業後はSGホールディングスグループに所属し、昨年1月にサンベルクスへ移籍。自己ベストは20キロ59分37秒、5000m13分57秒51。趣味はスポーツ観戦で、好きな球団は阪神。1年75、52キロ。

(上から)表彰される(左から)2位・坂元、優勝・沖守、3位・大橋とするハーフマラソンの部のランナー

来年ニューイヤ―駅伝出場へ弾み
引退を意図する年齢になったと実感する。競技を続けられること、そして会社で感謝しつつ一年一年を過ごさないとはいけな

所屬のサンベルクスは今年度のニューイヤ―駅伝の出場を逃した。次のターゲットは来年元日のニューイヤ―駅伝出場だ。そのために「結果を出したい」と意気込む。もちろん来年の三浦国際市民マラソンにもエントリー予定。「3連覇を狙います」と笑顔でV宣言を会場後にした。(古田士 恵介)

度会亜衣子さん「笑顔を共有」
「2019年度ミス日本」本グランプリ、ミススポーツの度会亜衣子(21)がスペシャルゲストとして大会に花を添えた。前夜祭には大会に花を添えた。前夜祭には大会に花を添えた。

柔道鈴木佳治氏「一生懸命応援」
「04年アテネ五輪柔道男子100キロ超級金メダリストで国士舘大監督の鈴木佳治氏(38)がスペシャルゲストとして初参加



した。大会前日は市内の小中学生25人を対象とした柔道教室を開催し、前夜祭にも出席。レジャーランド・前夜祭にも出席。レジャーランド・前夜祭にも出席。

夢のホノルル3人に出場権

ハーフマラソン完走者の中から抽選で3人に姉妹レースとなるJALホノルルマラソン2019(12月)出場権が贈られた。東京都大田区の吉田拓矢さん(25)は「ホノルルに向けて練習を頑張りたい」と意欲。横浜市の寺西諒祐さん(24)は「ホノルルを当てるために完走した。本当に当たるとは」と驚き、東京都江東区の川勝千寿子さん(50)は「夢みたい」と感激した。ホノルルマラソン協会のロナルド・チャン副会長は「素晴らしい大会だった」と感想を語った。



ハーフなのに、ホノルルがフルにまつてる。

Honolulu Half-Marathon Hapalua 2019

ホノルルハーフマラソン・ハパルア2019

2019年4月14日(日)午前6:00スタート
大会エントリー日本受付2019年3月19日(火)23時59分締切

参加者募集中! 競技種目 ●ハーフマラソン(21.0975km) ●ハーフマラソン車椅子部門(21.0975km)

お問い合わせ:ホノルルマラソン日本事務局
<http://thehapalua.jp>

JAL便で行くハパルアは、特典がいっぱい!

特典1 大会エントリー料、2000円割引!	特典2 大会当日、JALテントでお食事をご用意!
--------------------------	-----------------------------

JAL便の特典内容につきましては、右記のホームページにてご確認ください。 www.jal.co.jp/hapalua/

一緒に、走ろう。
一緒に、笑おう。